

# 福生市議会だより

## FUSSA

No. 121

発行 福生市議会  
平成10年7月25日  
〒197-8501 福生市本町5番地  
☎042(551)1511(代表)

### 平成10年 第2回定例会

## 議員定数二名減 二十二名に

### 定数条例の一部を改正

〓 福生市基本構想審議会条例を可決（審議会委員を市民からも公募）〓

平成十年第二回定例会  
が、六月三日から十九日  
までの十七日間の会期で  
行われました。今回の定  
例会では十六人の議員が  
一般質問を行い、「福生  
市基本構想審議会条例」  
を初めとする議案、及び  
「消費税の減税を求める  
陳情書」等の審議が行わ  
れました。

#### 本会議の経過

第一日目（三日）は、会  
期の決定等の後、七人の議員  
が一般質問を行いました。  
第二日目（四日）は、前  
日に引き続き、五人の議員が  
一般質問を行いました。  
第三日目（五日）は、四

人の議員の一般質問の後、  
「福生市税賦課徴収条例の一  
部を改正する条例」等の専決  
処分の承認を求めることにつ  
いての報告二件が承認され、  
「西多摩衛生組合規約の変更  
について」等の二議案が可決、  
「福生市表彰条例に基づく一  
般表彰について」の八議案が  
同意されました。

また、その他の議案と陳  
情書は各委員会に付託されま  
した。  
第四日目（十九日）は、  
各委員会に付託されていた議  
案等の審査報告が行われ、い  
ずれも可決等されました。  
また、当日議員から提出  
された「福生市議員定数  
条例の一部を改正する条例」

については、賛成、反対の討  
論が行われ、起立採決の結果、  
可決され、今定例会を終了し  
ました。

#### 主 な 内 容

可決等された案件、討論・・・2面  
一般質問・・・3～5面  
委員会の審査、活動、陳情・・・6面

#### 定例会の日程

5月 26日 議会運営委員会  
6月 3日 会期の決定  
一般質問  
議会運営委員会  
4日 一般質問  
議会運営委員会  
5日 一般質問  
議案審議  
9日 建設委員会  
10日 厚生委員会  
11日 総務委員会  
17日 議会運営委員会  
19日 議案の審議、委員会  
審査報告等  
議会運営委員会

#### 核実験実施に対する抗議書を提出

去る五月のインド国及びパ  
キスタン・イスラム共和国の  
核実験実施に対し、次のよう  
な抗議書を提出しました。

パキスタン・イスラム共和国  
ムハンマド・ナワズ・シャリ  
フ 首相閣下  
日本国東京都福生市長  
石川彌八郎  
日本国東京都福生市議会議長  
野口 秀世

今までに核実験実施国に対  
し、強く反対してきた。  
この度の核実験は極めて遺  
憾であり、抗議するので本国  
政府に伝えてほしい。併せて、  
今後、核実験を中止されるよ  
う強く要請する。  
一九九八年五月十二日  
インド国大使館 シンタルタ  
シン 駐日大使殿  
一九九八年五月二十九日  
パキスタン・イスラム共和国  
大使館 ドウレイ・シャ  
ワール・クレシー 臨時代  
理大使 殿  
日本国東京都福生市長  
石川彌八郎  
日本国東京都福生市議会議長  
野口 秀世

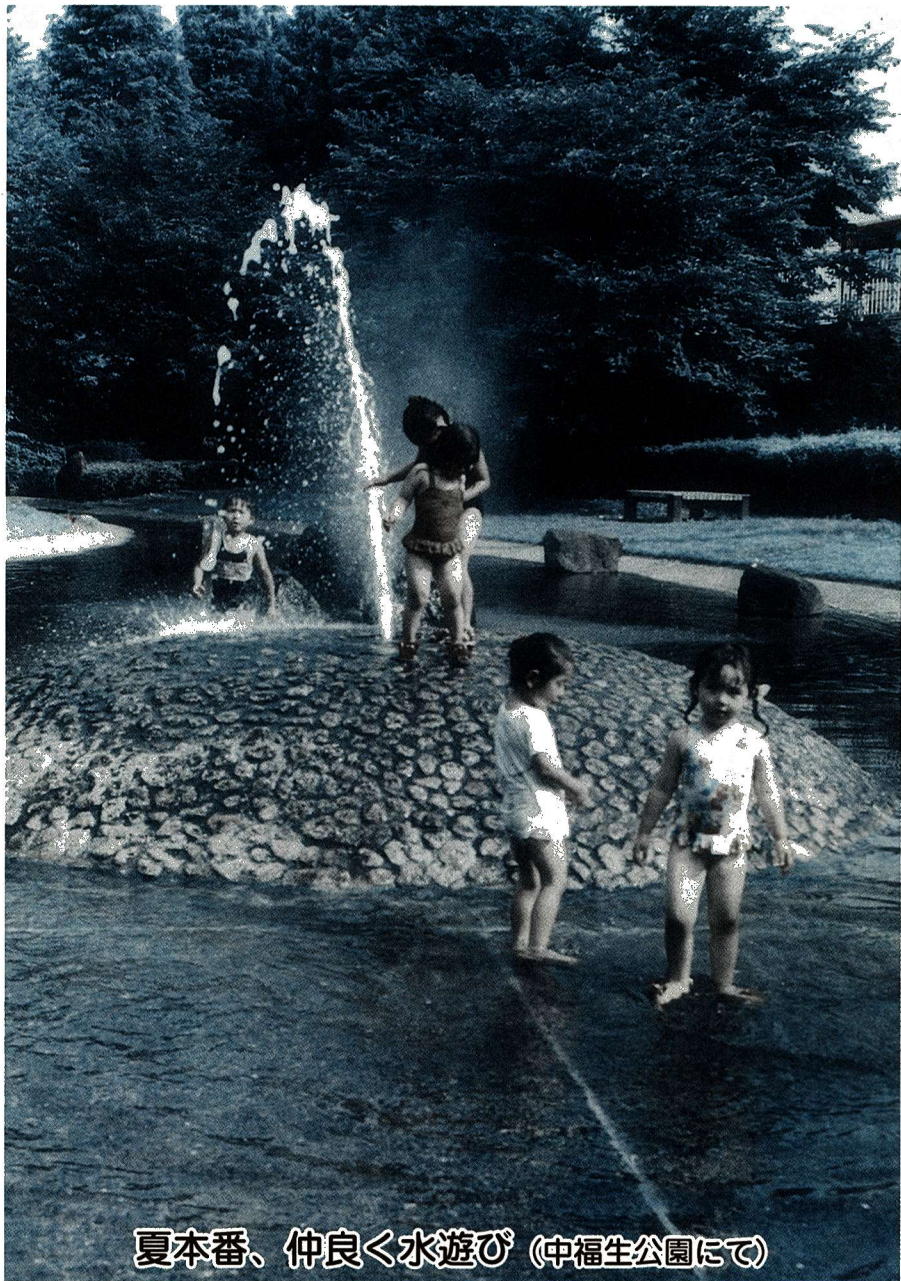
#### （要旨）

我が国は、核兵器による惨  
禍を被り、その恐怖を身をも  
つて体験した国である。半世  
紀経過後も、多くの人々が後  
遺症に苦しんでいる。当市は、  
今までに核実験実施国に対  
し、強く反対してきた。

日頃、両国の友好促進には  
敬意を表する。  
我が国は、核兵器による惨  
禍を被り、その恐怖を身をも  
つて体験した国である。半世  
紀経過後も、多くの人々が後  
遺症に苦しんでいる。当市は、

世界が核兵器廃絶に向け動  
き出している現在、核実験の  
強行は、誠に遺憾である。  
今後も核実験の中止と、核  
兵器の廃絶・恒久平和の実現  
のため、核兵器廃絶に向け先  
導的役割を果たされるよう強  
く要望する。

一九九八年五月十二日  
インド国 アタル・ビハリウ  
ジパイ 首相閣下  
一九九八年五月二十九日



夏本番、仲良く水遊び（中福生公園にて）

#### 議員表彰

関東市議会議長会、及び全  
国市議会議長会では、議員と  
して永年地方自治に功績のあ  
った方々を表彰しています。  
平成10年度においては、次  
の方が表彰されました。

#### 議員15年以上

林田 武

# 可決等された案件 (要旨)

今定例会に提出された案件は二十六件で、いずれも原案のとおり可決等されました。案件と要旨は次のとおりです。

酬を定める。

◆ 福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例  
助成対象乳幼児を三歳誕生月までから四歳誕生月までとするなどの改正をする。

◆ 福生市特殊疾病患者福祉手当条例の一部を改正する条例  
神経線維腫症及び網膜脈絡膜萎縮症を加え、点頭てんかんを削除する。

◆ 福生市の一般職の職員の平成十年六月期期末手当の支給割合を定める条例  
支給率を百分の百七十とする。

◆ 西多摩衛生組合規約の変更について  
正副管理者会議の構成者の変更と助役を設置する。

◆ 平成十年年度福生市一般会計補正予算(第一号)  
五千五百五十九万の増額。  
歳入で補助金、土地売却収入、老人保健医療特別会計からの繰入金、公園内の

自動車事故の損害保険金。歳出では自動車事故の賠償金、土地売却の鑑定料、介護保険事業計画の策定、乳幼児医療費助成の対象者拡大による増、道路整備に伴う代替用地の公社からの買い戻し等。

◆ 平成十年年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)  
四千三百七十四万二千円の増額で、前年度の清算による補正をする。

◆ 中央排水区H-10その一工事請負契約  
五洋建設株式会社と制限付一般競争入札による契約を締結。  
雨水排水の幹線の工事。

◆ 都道一六五号線(伊奈・福生線)道路改修工事(特交福生の一)請負契約  
田村建設工業株式会社と制限付一般競争入札による契約を締結。  
福生駅西口駅前通りの整備。

◆ さくら会館改良工事(建築工事)請負契約  
田村建設工業株式会社と制限付一般競争入札による契約を締結。  
耐震補強と内装改良工事、エレベーター、身障者用トイレの新設等。

◆ 福生第一小学校建物耐震補強及び内装改良工事(建築)請負契約  
田村建設工業株式会社と制限付一般競争入札による契約を締結。  
耐震補強と内装改良工事。

◆ 福生第二小学校建物耐震補強工事請負契約  
株式会社浅沼組と制限付一般競争入札による契約を締結。  
耐震補強工事。

◆ 損害賠償の額を定めることについて  
南公園内での自転車の事故に伴う損害賠償。  
福生市表彰条例に基づく一般表彰について  
・多年にわたり市行政に貢献  
・学校医及び予防接種医  
・消防行政に貢献  
・消防団員(三名)  
・現金の寄附(二名)  
・交通事故防止活動に貢献  
・家庭菜園として土地を無償提供(一名)

◆ 議員提出議案  
福生市議会議員定数条例の一部を改正する条例  
議員定数を二十四名から二十二名に減員し、次回選挙から適用する。



▲改良される「さくら会館」

## 討論

今定例会の十九日「福生市議会議員定数条例の一部を改正する条例」に対し、賛成、反対の討論が行われ、可決されました。  
ここでは、その要旨を掲載しました。

### ■賛成

昨年、西多摩衛生組合にかかわる収賄罪事件で二名の逮捕者を出し不信感を持たれた市議会は、定数削減の陳情等、市民からのおしかりを受けたようなものだ。  
定数減は議会の弱体化を招くと言われる一方、不景気、少子・高齢化時代を迎え、議会も率先して経費を削減すべきなど、議員定数の適正数は難しいが、議会に合理的運営が望まれ、二名の逮捕後二十二年で支障なく議会運営がされている現在、減員は当然で、市民の賛同を得られるものと信じ、本議案に賛成する。

### ■反対

本市は地方自治法で三十六人まで議員定数が認められており、現在の二十四人では少ない状況である。高齢化社会等のもと、多様な市民の声を市政に反映させるためには、定数をふやす必要があり、削減はあり得ない。また、行政のチェック機能の低下につながる。この定数削減は、議員が身を削ったからという理由で、市民にもさらに負担を押し進めかねない。また、昨年一部議員の不祥事を、無反省のまま定数削減をすることは許されず、本議案に反対する。

### ■賛成

本議案の提案理由に一番大きなインパクトを与えたのは昨年発覚した収賄事件である。加えて昨年末、市のみならず、議会も市行財政改革の先頭に立つということで定数削減の陳情に十八名の議員が賛成した。  
二名減にする根拠は市の規模、隣接市との比較等難しいが、既に今日まで、二十二名体制で定例会、予算・決算審議等に全力投球で活動してきたことを市民に理解していただき、議員の立場のみならずの身分問題に意思決定をするということで作成したい。

### ■反対

地方自治法で、本市は人口による定数は三十六人、条例で削減できるとなっているが、本市は若い人など様々な階層による議会構成となっており、それでいいのかという疑問がある。交代を図るには一定数が必要で、新しい人が入り、その中で市を建設する意見が出ることを望ましく、今回の定数削減を見送る、二十四名で議会運営を行っていくべきであり、本条例に反対である。

## 「議会日誌」

▼4月	2日 多摩地区離職対策連絡協議会常任委員会	13日 厚生委員会行政視察(15日まで)
8日 都市計画審議会	15日 昭島市議会視察来市	
10日 東京都市議会議長会臨時総会	18日 西多摩地区議長会(21日まで)	
16日 議会運営委員会(市議会だより編集会議)	21日 建設委員会行政視察(21日まで)	
20日 四五都市議会協議会総会(21日まで)	22日 戦没者追悼式	
22日 多摩地区離職対策連絡協議会総会	22日 定期監査(社会教育部)	
22日 東京都市議会議長会	25日 農業委員会	
23日 東京都市議会副会長会議	26日 例月出納検査	
23日 東京都市議会監査委員会総会	26日 全国市議会議長会総会	
27日 農薬委員会	27日 議会運営委員会	
27日 東京都市収益事業組合議会臨時議会	27日 横田基地対策特別委員会行政視察(29日まで)	
28日 例月出納検査	29日 市議会議員共済会代議員会	
29日 東京都三多摩地区消防運営協議会総会	29日 パキスタン・イスラム共和国へ核実験実施に対する抗議書提出	
▼5月	1日 総務委員会	▼6月
6日 西多摩衛生組合議会臨時会	3日 第2回定例会(1日)	
7日 全国市議会議長会基地協議会役員会	4日 第2回定例会(2日)	
7日 JR五日市線複線化促進協議会	5日 議会運営委員会	
8日 西地区市町村国民健康保険運営協議会連合会総会	9日 建設委員会	
8日 表彰審査委員会	10日 厚生委員会	
11日 西多摩衛生組合議会行政視察(12日まで)	11日 総務委員会	
12日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会総会	17日 議会運営委員会	
26日 八高線電車化促進期成同盟会総会	19日 第2回定例会(4日)	
26日 インド国へ核実験実施に対する抗議書提出	26日 議会運営委員会(市議会だより編集会議)	

# 一般質問

## (要旨)

### 市政のここが聞きたい

今定例会では、十六人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたずねました。三〇五面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が掲載できません。詳しくは、会議録を図書館でご覧ください。なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認をしています。

### ポリカーボネート製食器の

#### 現況について

清水信作 議員

質問 最近問題の、人体に影響を与えと言われる環境ホルモンの一つである物質が、ごく微量溶出する合成樹脂製品ポリカーボネート製食器を、当市の学校給食でも使用していることが、都教育委員会の調査でわかり、五月初めの新聞紙上で発表された。その中で、安全な食器に買い替える考えであるとあったが、その現況と、買い替えの場合の時期や費用、予算措置について伺いたい。



▲楽しい給食、だが食器から環境ホルモンが溶出する問題もある

### 町会、自治会の加入率を

#### 高める対策は

林田 武 議員

質問 当市の平成九年の町会加入率は五十四・九%で、

災害時における相互応援協定を締結している守山市は九十

市長 町会、自治会加入率の低下原因は、住宅や生活環境の変化など諸状況が影響しあつてのものと考えられる。加入率が高いことは、防災対策上等の効果など、市としても加入率には関心があるが、基本的には、町会・自治会への加入は、任意的なもの。そこで、町会長協議会でパンフレットを作成して市の窓口へ置き、転入者に加入を進めている。

今後は加入率の高い市の状況等について調査してみたい。



▲町会・自治会による防災訓練

### 図書館休館日のあり方と

#### 夜間開館の対応は

遠藤洋一 議員

質問 ①市の社会教育施設は月曜日休館、祝祭日は開館し翌日が休館となっている。しかし、図書館だけは祝祭日が休館となっている。実際、祝祭日に利用したい市民も非常に多いと思

近隣の市民から夜間開館の要望が強いが、夜間開館等対応できないか。

教育長 ①社会教育施設は、祝祭日の事業等の開催もあるが、図書館は、その目的や機能が異なるよう



▲祝祭日開館が望まれる図書館

### 消防団と自主防災組織の

#### 現状について

森田昌巳 議員

質問 ①当市の消防団は、先般のポンプ操法大会や全国大会の出場など、輝かしい実績を残しているが、消防団の団員数、年齢層、火災訓練等の出動状況、消防署との関係、本年の入退団者の状況はどのようになっているか。

②自主防災組織は、町会ごと組織され、消防署等の指導、訓練を受けているようだが、市内に三十五ある自主防災組織の活動状況はどうか。



▲消防団によるポンプ操法大会

### 防災・道路・福祉等の

#### 緊急時の対応策は

石川和夫 議員

質問 緊急時の対策として、郵便局では地域に密着したネットワークづくり、特に自治体とも連携した地域防災、福祉増進支援をしていくのとこのことである。

局長との協定締結についてどう考えているか。

## 一般質問項目

(質問順)

清水信作 議員

○市制30周年について

○平成12年に行う、市制施行30周年記念事業について

○シルバー人材センター事業について

○枝葉ごみの堆肥化事業の現状について

○教育行政について

○給食のポリカーボネート製食器の現況について

○市民の町会・自治会加入率について

○町会・自治会加入率を高めるための対策について

○市のイメージアップについて

○テレビを活用し、市民に情報の提供ができないか

○片倉跡地に都の新施設の誘致を

○俗称「赤線」という言葉を払拭する手だてはないか

○横田基地について

○新ガイドライン周辺事業法への対応について

○自衛隊機の低空旋回飛行について

○基地カーニバルについて

○社会教育について

○図書館の休館日のあり方について

○図書館の夜間開館について

○市民参加について

○第3期総合計画策定委員への市民公募について

森田昌巳 議員

○防災対策について

○消防団の現況について

○自主防災組織について

○福祉行政について

○介護保険制度に対する対応について

○緊急時等に対する対応策について

○防災・道路・福祉等の対応について

○教育行政について

○通学路の安全対策について

○安全対策について

○公園及び道路施設等の点検について

○子供110番の家について

○教師による児童の登下校指導について

○防火シャッターの誤作動について

沼崎満子 議員

○保育行政について

○「保育園の布団乾燥費助成」について

○保育園のプールに「太陽熱吸収方式」の設置について

○ごみ対策について

○ごみのステーションの美化推進表彰制度の導入について

○廃棄物減量等推進の現状について

○ごみの出し方について

○外国人への対応について

また、道路については「道路情報提供サービスに関する覚書」を郵便局と締結し、道路及び道路施設等の危険箇所を市に情報提供していただくことになった。



▲郵便局と災害時協力に関する覚書を締結

### 公園や道路施設等の点検 子供110番の家について

鈴木暉一郎 議員

質問 ①最近、加美平西公園での滑り台からの幼児転落事故や加美平立体通りアンダーパス箇所での交通事故による高校生転落事故等があったが、事故防止のための公園、道路施設等の点検、管理はどのようにしているか。また、危険な場所の情報把握について伺いたい。

日には福生郵便局と「覚書」を締結し、危険箇所の情報を市に提供していただけることになった。今後も適切な管理に努めたい。

教育長 ②昨年度から実施し、本年四月現在、当市では七十六軒、福生警察署管内では百八十六軒を指定している。

②子供や幼児に対する凶悪犯罪対策として子供110番の家の制度はいつごろ始まり、福生市では何軒指定されているか。



▲公園遊具等は定期点検されている

### 保育園の布団乾燥費助成や プールの太陽熱吸収方式を

沼崎満子 議員

質問 保育サービスの充実に向けて、次の点を聞きたい。

①市内の保育所での布団乾燥実施の有無と保護者の費用負担はどうか。

また近隣の対応はどうなっているのか。

②セラミックスは体に良いと言われているが、保育園のプールの底と側面にセラミックス塗膜剤を塗布し、水温を上昇させる太陽熱吸収方式プールの導入の考えは。

市長 ①昼寝用布団の乾燥については、市内十二園が業者による乾燥機で、月一回実施している。うち十園は保護者が平均月額二百六十円負担している。また、二十七市のうちで、公費負担しているのは七市である。



▲業者による保育園児の布団乾燥

### 二年後に迫る介護保険法 その内容は？

原 敏子 議員

質問 介護保険法実施に伴う在宅サービスのメニュー、当市における介護保険料の額、介護保険法施行の二千年四月までの準備作業の内容はどうか。

また、地域福祉計画、ゴールドプランとの整合性はどうか。

市長 介護保険法施行までの準備作業として、基本となる介護保険事業計画の作成、高齢者実態調査をする。

体制準備について、介護認定審査会の設置と要介護認定のモデル事業を予定している。



▲在宅福祉サービスはこれからどう変わるか

### サイクリングロードの さらなる整備を

小野沢 久 議員

質問 当市のサイクリングロードは、よく整備されているが、次の点を聞きたい。

①長徳寺付近は木々が美しく、その木が伐採された経過は。

②永田橋付近の横断は通行車両が多く、危険である。立体化などの対応策はどうか。

③遊歩道を含め、桜の木が植えられているが、植えられていないところにも植えてはどうか。

市長 ①長徳寺所有地の土砂が緩み、墓地在傾斜や崩壊の恐れから、崩壊防止工事のため、やむを得ず伐採したとのこと。



▲多摩川沿いの緑豊かなサイクリングロード

### 熊川分水保存に向けての 状況は

児島兵衛 議員

質問 歴史的にも貴重な文化遺産である熊川分水を、将来にわたり保存し、後世に残す必要があると過去に市長の考えが示されている。その後、熊川分水対策会議で保存に向けての協議がなされてきたが、現在の進捗状況はどうか。

市長 昨年開催の熊川分水対策会議において分水のあり方と保存方法等について、一定の方



▲貴重な文化遺産である熊川分水

原 敏子 議員

○介護保険法について

○保育行政について

○児童福祉法改正による保育行政(学童保育含む)の影響について

○学校給食について

○学校給食の食器等の改善について

小野沢 久 議員

○管理公社の設立について

○経過と今後の取り組みについて

○下の川の関連整備について

○「せせらぎ」の設置について

○緑地保全の状況と今後の見通しについて

○南公園に渡る歩道橋の設置について

○サイクリングロード関係について

○長徳寺付近の木々が伐採されたが、どういうことなのか

○永田橋付近の立体化について

○桜の木の植樹について

児島兵衛 議員

○熊川分水について

田村正秋 議員

○福祉行政について

○友愛訪問事業廃止について

○交通安全対策事業について

○すすいプラン100について

○カジュアルデーについて

山下 進 議員

○教育行政について

○教育相談員について

○国旗・国歌について

○保健室の利用状況について

○銀座通りのインターロッキングについて

○西口駅前通りからの銀座通りへの入口部分について

○電柱の移設について

○交差点内に道路点滅鏡の設置について

大野悦子 議員

○ごみについて

○リサイクルについて

○ごみゼロ社会を目指すには

松山 清 議員

○「周辺事態措置法案」について

○法案に対する市長の見解をお聞きしたい

○公共事業の入札について

○予定価格、設計金額の事前・事後公表についての考えについて

○牛浜駅東口公園について

○障害者の通行も考えて改善を

久保田数枝 議員

○子育て支援の充実について

○仮称「父子健康手帳」

る分水整備方針検討プロジェクト会議を充足させて検討させているが、市としての明確

### 「すいすいプラン100」のその後は

田村正秋 議員

質問 都が施工しようとする福生地区二カ所の交差点改良すいすいプランは、地権者の反対があり、交通量や安全確認の面で都との食い違いがあつて、住民の賛成が得られていないが、都との関係の中でどのように対応するのか。また、今後の対策と進捗状況は。

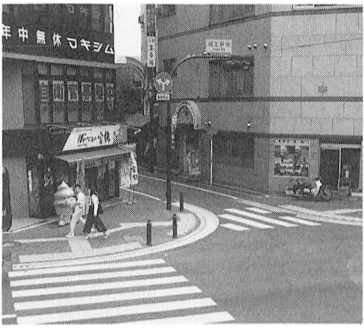
な方針を打ち出すには、いましばらく猶予をいただきたい。

都としても、交通渋滞の解消に向けての重点施策として推進している以上、継続して関係権利者の皆さまの御理解と御協力を待たいとの基本的な姿勢は堅持されているが、こういった現状からは事業化は難しいものと考えられる。

市長 事業推進に向け、三回ほどの地元説明会では、用地買収を伴う交差点等の改良計画案に対し、地権者等から玉川上水の蓋がけ等による整備要望が出された。その後、都も民有地への影響を最小限に抑えた修正案を示されたものの、反対意見は変わらず不調に終わっている。

質問 銀座通りの改良工事に向け、次の点を聞きたい。①西口駅前通りから銀座通りへの入口部分が狭いが、何か手だてが講じられないか。②道路に大きくはみ出している電柱や道路標識を道路の端に寄せることができないか。③道路点滅灯を信号機のない交差点すべてに設置できないか。

市長 ①駅前通りか



▲福生駅西口駅前通りからの銀座通り入口



▲交通渋滞する奥多摩街道

### 銀座通りの改良工事について

山下 進 議員

質問 銀座通りの改良工事に向け、次の点を聞きたい。①西口駅前通りから銀座通りへの入口部分が狭いが、何か手だてが講じられないか。②道路に大きくはみ出している電柱や道路標識を道路の端に寄せることができないか。③道路点滅灯を信号機のない交差点すべてに設置できないか。

ら銀座通りへの歩行者の動線や安全性確保のため、都・警察署との協議の中で、警察署指導で現在の施工方法による資源化率が十九・六％に

り整備したものである。しかし、ドライバー等にも注意を促すように縁石に自発光式の道路標識を設置して、さらに安全確保を図りたい。

確認させていただき、設置者とも協議し対処したい。③危険と思われる信号機のない交差点には設置の方向で進めている。現地をよく確認し、対処していきたい。

### ごみリサイクルとごみゼロ社会を目指すには

大野悦子 議員

質問 ①環境問題を考える時、リサイクルが大切であり、その取り組みは盛んになってきているが、ごみリサイクルによる減量と、もっと市民に関心を持ってもらうためのPRは。

②出したごみの最大限再利用、また、ごみを出さない努力を目標に、ごみゼロ社会へ向けて、できること、やらなければならぬことについての考えは。

市長 ①ごみ減量とリサイクルを図るため、資源の日の実施やリサイクル推進者の設置、各種団体を対象に報償金交付要綱を設け、資源の回収の徹底を図った。また、容器法に伴いペットボトルの回収やリサイクルプラザでの即売会等により、ごみ総量に換算した資源化率が十九・六％に

達した。更に市民の皆さまには、再生品の利用の促進をお願いしたい。②ごみ発生の抑制は、行政が排出されたごみを単に処理する対応だけでなく、市民の役割も重要である。ごみの出ない商品選びなど、生活様式に工夫をいただき、ごみ発生回避に努めていただくようPRしたい。



▲第四小学校PTAリサイクルバザー

### 公共事業入札の予定価格等公表についての考えは

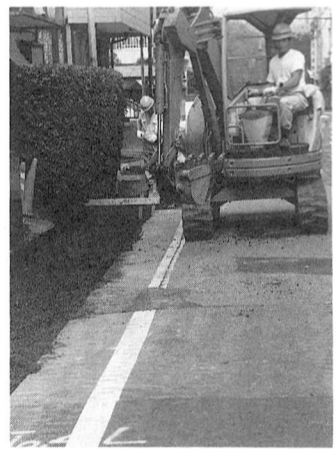
松山 清 議員

質問 公共事業の入札について、予定価格や設計金額の事前・事後公表を行うことは、契約制度の透明性、競争性、対等性、公平性をより高めるのが目的とされている。公共事業における談合などの腐敗防止、コスト縮減、行

政改革推進の立場から、入札の予定価格や設計金額の事前・事後公表をする考えがあるかどうか。

市長 都では、入札の透明性の確保や高値価格での入札防止を目的に、一定価格以上の工事案件の事後公表を実施

していくが、事前公表については、当面考えていないとのことであり、引き続き検討していくとのこと。また、事前公表については当面考えていない。



▲牛浜駅東口駅前通りの改良工事

### 子育て支援の充実を

久保田数枝 議員

質問 少子化が社会問題になっているが、その背景には晩婚や、未婚率の上昇のほか、仕事と育児の両立が難しい側面がある。子育てをしながら働ける子育て支援について、次の点を聞きたい。

①父親も一緒に子育てをという意識改革のために(仮称)父子健康手帳を交付し、父親の育児ハンドブックとして活用したらと思うがどうか。

②本市では、母親学級や育児相談、両親学級等が平日の昼間に実施されているため働く女性が参加しにくい。共稼ぎ夫婦のための両親学

級を休日、夜間に開催したらと思うがどうか。市長 ①妊娠届け提出の際に「母子の保健バッグ」をお渡ししており、母子健康手帳、母親学級・育児学級の副読本等が入っている。さらに「父親ハンドブック」があり、父子手帳と同様のものだと考えている。配布を継続する中で活用をさらにPRしたい。

②平成十一年度から年間二回程度実施したい。

市長 ①意見交換会では、下の川整備の基本的な考え方を申し上げたところ、いろいろな御要望等が寄せられた。本年八月までに二回目の意見交換会を開催し、要望に沿った計画図等をお示しし具現化を図ってまいりたい。



▲父親も一緒に子育てを

### 田園七十一号線等の道路行政について

吉沢嘉翁 議員

質問 ①田園七十一号線(下の川道路の清水坂から五小

の間)の改良計画に伴う住民との意見交換会後の経過は。

の交付について

②水防対策について  
①田園71号線(下の川道路(清水坂〜五小間)の計画について

吉沢嘉翁 議員  
○緑と水を守る施策について  
①多摩川の清流を取り戻すために  
②市内緑地、保全について  
③陸橋通り(内出交差点〜16号線間)の現況と今後について

○多摩川の安全性について  
②田園七十一号線開通部(下の川道路のひよどり坂から清水坂の間)は通行車両が多く、早急な安全対策を。  
③陸橋通り(内出交差点から十六号線の間)の拡幅整備の状況はどうなっているか。

市長 ①意見交換会では、下の川整備の基本的な考え方を申し上げたところ、いろいろな御要望等が寄せられた。本年八月までに二回目の意見交換会を開催し、要望に沿った計画図等をお示しし具現化を図ってまいりたい。

③都では路線測量の一環として、現道にセンター杭を入れる等の測量を九年度末に実施した。本年秋には具体的な用地買収のための説明会を開催する予定とのことである。



▲整備待たれる下の川道路(清水坂から第五小学校間)

### 議案を傍聴してみよう

次の定例会は9月2日(水)からの予定です

お気軽にどうぞ

本会議の傍聴はどなたでもできます

くわしくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎551-1511 (内線 512)

# 委員会の審査から

今定例会の常任委員会では、付託された議案と陳情、及び継続となっていた陳情の審査が、六月九日、十日、十一日の三日間、建設・厚生・総務の順で行われました。

また、議会運営委員会も、今定例会に際し、五行行われました。

ここでは、各委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

## 建設委員会

現地視察の後、付託された陳情二件の審査をしました。

現地視察は、現在東京都下水道局が建設を進めている多摩川上流雨水幹線の工事現場を視察する委員



▲多摩川上流雨水幹線の工事現場を視察する委員

摩川上流雨水幹線工事で、この工事は、青梅市、福生市、羽村市の一部地域の雨水を排除するため、排水面積千八百九十九ヘクタールの地域を対象に、青梅市を上流とし、福生市北田園二丁目(永田橋付近)で多摩川に放流する全長七千二百八十メートルの地下排水路です。

対象区域は、青梅市の東部の一部と、羽村市の北東部、及び福生市の北部の一部です。

調査内容は、生活実態及び介護保険の利用意向等であり、調査項目は在宅の方で、七十項目程度、施設の方で二十項目程度を考えているとの説明に、原案どおり可決されました。

◎平成十年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)

本補正予算は、平成九年度老人保健医療特別会計四千三百七十四万二千円の過不足を清算するものであるとの説明に、原案どおり可決されました。

◎福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

医療費の助成対象を、三歳から四歳に改正をし、平成十年十月一日から施行しようとするもので、委員の質問に対し、三歳以上四歳未満の四月一日の対象人口が七百十六名あり、利用推定人口を基に、対象人口を三百九十四名見込んでいるとの答弁があり、原案どおり可決されました。

◎平成十年度福生市一般会計補正予算(第一号)

委員会に付託された所管分の質疑に対する答弁として、介護保険に伴う計画策定基本調査等委託は、六十五歳以上の方約二千六百五十人を対象として、民生委員にお願いし、七月から八月にかけて聴き取り調査を実施するものであり、調査内容は、生活実態及び介護保険の利用意向等であり、調査項目は在宅の方で、七十項目程度、施設の方で二十項目程度を考えているとの説明に、原案どおり可決されました。

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

この地域は、都市下水路によって、雨水を排除してしまいが、市街化が進むにつれ、特に集中豪雨のときなどは、都市下水路が満杯となるため、浸水等の被害が発生し、生活基盤に大きな影響を与えており、水害を軽減・解消し、安心して住めるまちとするため、事業を進めております。

完成予定は、平成十四年三月となっております。

現地視察後に、審査した陳情二件は、全員一致で継続審査とすることに決定しました。

◎平成十年度福生市一般会計補正予算(第一号)

本陳情書は平成十年三月に提案され、以後六月に審査しました。

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

## 陳情

各委員会で審査された陳情の結果は、次のとおりです。

### 不採択

◆陳情第十一号 仮称福生市社会教育関係団体登録要綱を制定し、「全市民に開放されている保証」を求めた陳情書

◆陳情第十一号 「不適当と認める場合」の運用の適正化を求める陳情書

### 継続

◆陳情第八十九号 プラスチック製品の製造規制等を求める陳情書

◆陳情第九十六号 「未臨界核実験」など、あらゆる形態の核実験に反対する意見書採択に関する陳情書

◆陳情第九十九号 アメリカ

### 採択

◆陳情第九十一号 アメリカの「未臨界核実験」の中止と、あらゆる形態の核実験禁止、核兵器廃絶の実現を求める意見書提出についての陳情書

◆陳情第九十七号 視覚障害者用交通信号機を設置するよう警察等に要望することを求める陳情書

◆陳情第九十八号 市の公共施設へのわかりやすい名称をしるした看板等の設置を求める陳情書

◆陳情第九十九号 市所在の公共施設への案内標識設置を求める陳情書

◆陳情第九十三号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆中央排水区H-10その一事務請負契約

◆都道一六五号線(伊奈・福生線)道路改修工事(特交)

◆福生第一小学校建物耐震補強及び内装改良工事(建築)

◆福生第二小学校建物耐震補強工事請負契約

◆福生市では、電話ボックスの障害者用がないということについて、NTTにお願いしてついでに、契約案件として、次の四件が審査され、全員異議なく採択と決定しました。

## 総務委員会

◎平成十年度福生市一般会計補正予算(第一号)

委員会に付託された所管分について、財産収入で土地売却収入の購入時の違いや、諸収入で南公園内における自転車事故にかかわる損害保険金五十七万円の経過についての質疑があり、原案どおり可決されました。

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

## 議会運営委員会

◎平成十年度福生市一般会計補正予算(第一号)

委員会に付託された所管分について、財産収入で土地売却収入の購入時の違いや、諸収入で南公園内における自転車事故にかかわる損害保険金五十七万円の経過についての質疑があり、原案どおり可決されました。

◎福生市基本構想審議会案例

委員の質疑に対する答弁として、委員十八名のうち、三名は公募とし、年齢、性別、得意の分野を加味し選考していく。学識経験者は、全体の委員をフォローするという点でお願いし、女性委員についても、多くの方に参加をい

## 編集後記

本会議や委員会での白熱した議論の後、休憩時間のコーヒーが楽しみです。公費ではありません、議員が自分たちでお金を出し合っています。いままでも何気なく使っていた、使い捨ての紙コップが話題になりました。資源の無駄だし、大変なゴミになります。お茶碗で飲むか、それぞれの「マイカップ」を持ち込もうということになりました。

今回の定例会は議員定数について大議論があり、本会議はもとより、全員協議会でも、熱心な意見交換が行われました。本会議ばかりでなく、委員会や全員協議会も傍聴できず、ぜひおかけ下さい。

議会運営委員長 遠藤洋一

## 審議未了

◆陳情第八十四号 「一刻も早く三十人学級の実現を求める意見書」の提出を求める陳情書

◆陳情第十一号 年金制度改善を求める陳情書

◆陳情第十一号 介護保険制度の準備・施行に関する陳情書

◆陳情第十一号 さらなる医療制度改善に反対する意見書の採択を求める陳情書

◆陳情第十一号 人間らしく生き、人間らしく働くことを根底から破壊する労働法制全面改善に反対する意見書の採択を求める陳情書

◆陳情第十七号 医療制度の連続改善をやめ、安心してかかる医療の充実を求める陳情書

◆陳情第十八号 新ガイドラインに伴う有法法制化に反対する陳情書

◆陳情第十九号 消費税の減税を求める陳情書

◆陳情第二十二号 住宅都市整備公団改革に際し、既存賃貸住宅居住者の居住安を定める陳情書

◆陳情第八十八号 公務員賃金の改善要求実現と人事院勧告の凍結・値切りに反対する陳情書

◆陳情第九十三号 老人福祉バスの停留所標識設置を求める陳情書